

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2023/08/23

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	35.02	-0.20
JPY/THB	0.2400	-0.0008
USD/JPY	145.89	-0.33
EUR/THB	38.00	-0.38
EUR/USD	1.0846	-0.0050
USD/CNH	7.307	0.017
SGD/THB	25.79	-0.14
AUD/THB	22.49	-0.10
USD/INR	82.93	-0.18
USD Index	103.56	0.26

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	2.491	0.009
10Y (THB)	2.771	0.024
5Y (USD)	4.488	0.022
10Y (USD)	4.324	-0.014

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,896.4	3.1
WTI (Oil)	80.35	-0.37
Copper	8,362.5	88.0

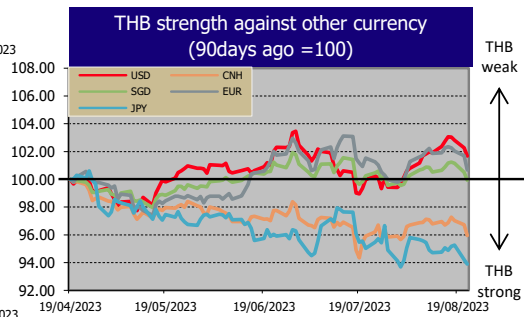
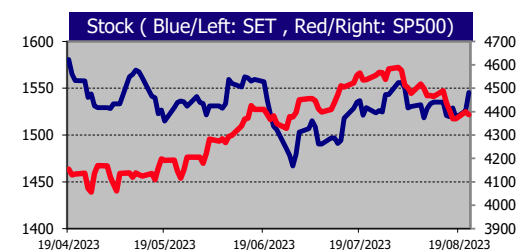
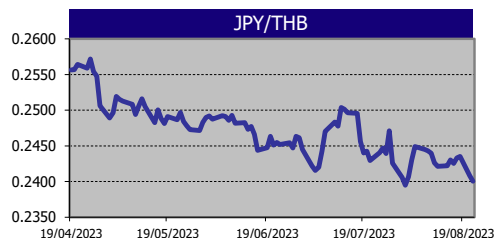
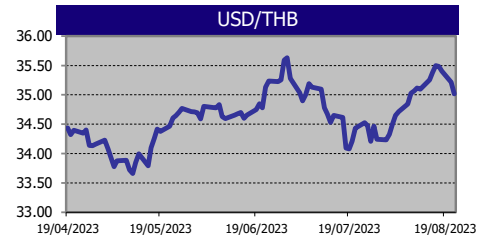
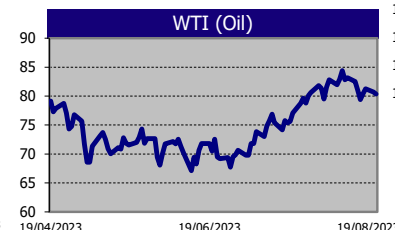
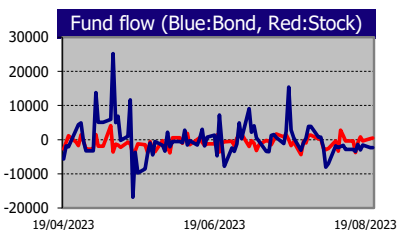
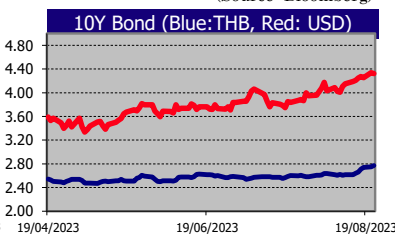
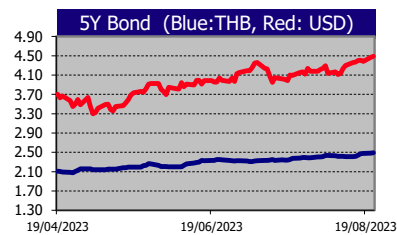
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,545.60	19.75
NIKKEI (JP)	31,856.71	291.07
DOW (US)	34,288.83	-174.86
S&P500 (US)	4,387.55	-12.22
SHCOMP (CN)	3,120.33	27.36
DAX(GER)	15,705.62	102.34

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	510	164.5
Bond net flow	(2,301)	0.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅に下落。35パーツ台前半で取引を開始し、同日15時からの首相指名投票開始を前に今回の投票で首相が決まり、政治の空白が解消されるとの期待感が先行したため、ドルパーツは下落基調を示した。投票開始後もタイ貢献党のセター氏が着実に票を獲得していく中で下値を探る動きとなり、オンショア市場の引け間際には35パーツを割り込んだ。海外時間にはドルインデックスの反発に伴い35パーツ台へと戻すが、タイ新政権による経済刺激策への期待からドルパーツは上値重く、35.02と前日比パーツ高で引けた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅下落。146円台前半で取引を開始。日経平均の堅調な動きと米金利上昇を受けてドル円は仲値に向けて小幅上昇したが、植田日銀総裁と岸田首相が会談とのヘッドラインを警戒して145円台後半へ下落。その後は欧州時間序盤に米金利が低下したことで145円台半ばまで下落したが、米金利が反転上昇するとドル円は弱い米住宅系指標を見ながらも下げ幅を縮小して145.89レベルで終えた。

Bangkok Dealer's Eye

タイではようやく首相が決定、新政権が成立したことで停滞していた経済のかじ取りが進み出すことが期待されています。タクシン元首相の帰国と重なったことや、親軍政党との連立など混乱を生む要素があるものの足許の相場への影響は限定的となっています。一方で、中国経済の減速や米国の金利動向がグローバルな市場に影響を与える状況が続いていてパーツ相場もボラティルな状況が続いており、タイのGDPが予想比弱かったにも関わらずパーツ高に触れるなど動きが読みにくくなっています。9月以降に中央銀行のMPCが本格化してきますが、今はそこに向けて少しでもヒントを得ようとする時期となっており、思惑で動いている部分も多分にあるのではないかと感じています。明日からはジャクソンホールシンポジウムが開催されますが、そこでもやはり中国の景気減速や米国の長期中立金利見通しなどが議論される可能性があり、確度の高い情報が増えるにつれてトレンドも出てくるのではないかとみています。(塩谷)